

学校法人向け 人事システムのご紹介

with GeneXus®

目 次

はじめに

- 1.人事システム の目的
 - 2.人事システムの特徴
 - 3.人事システムの全体像
 - 4.人事システムのメニュー構成
 - 4-1.「人事管理」業務の流れ
 - 4-2.「人事評価」(目標管理制度)業務の流れ(案)
「目標管理制度」の狙い
 - 4-3.「就業管理」業務の流れ
 - 4-4.他システムとの連携
 - 5.人事システムの稼働環境
 - 6.導入スケジュール(案)
 - 7.導入事例(東洋大学様)
 - 7-1.システムの規模(GeneXus[®]による開発)
 - 7-2.開発体制
 - 7-3.開発フェーズおよびユーザ・レビュー
 - 7-4.開発スケジュール
- おわりに (GeneXus[®]とは)

はじめに

ご紹介いたします「人事システム」は、学校法人向けの次世代人事システムです。

組織を支えるのは人であり、教育機関である学校法人においては一層顕著になります。

ご提供する人事システムでは、限られた人材から最大限の教育研究成果を引き出すため、役員・専任教員からアルバイト・派遣社員・業務委託者(警備員、清掃員等)に至るまで、組織の構成員の情報を人事基本情報として蓄積し正確に把握します。

構成員の情報は、年俸制・期間雇用・アルバイト等、雇用形態によって異なる契約であっても管理することが出来ます。

また、構成員の採用から退職に至る各種人事情報から分析を行う機能も有しており、採用・異動・退職による過不足の管理等を適切に行えるようにサポートします。

管理するための手続きは簡素かつ自動的に行えるようにしていますので、事務作業だけでなく企画等の業務へ参画できる環境づくりをサポートします。

ご提供する人事システムは、「利用者の立場に立った情報システム」として発生源入力・発生源管理・データ共有化を実現しています。

昨今のIT環境の革新に対しては、GeneXus[®]を使用することによって柔軟に対応することができます。

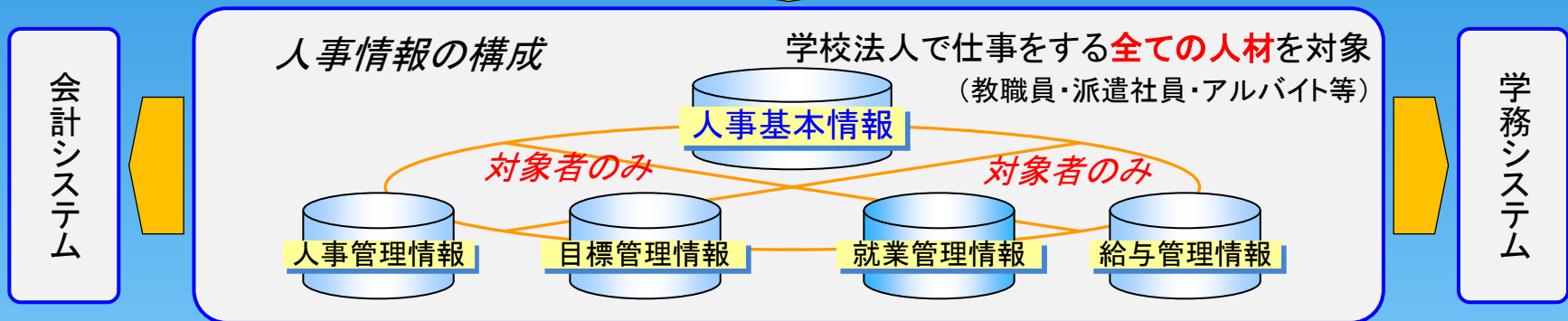
1. 人事システムの目的

人事の**実態**を、**ありのまま**把握し、
効果的な人事や、**業務改善**に活かします。

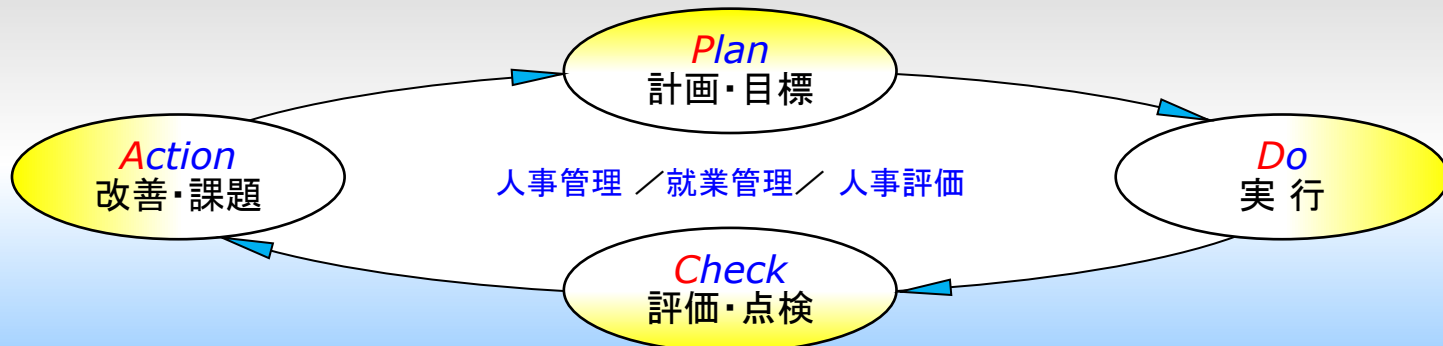
見たい情報を

見たい時に

使い易く



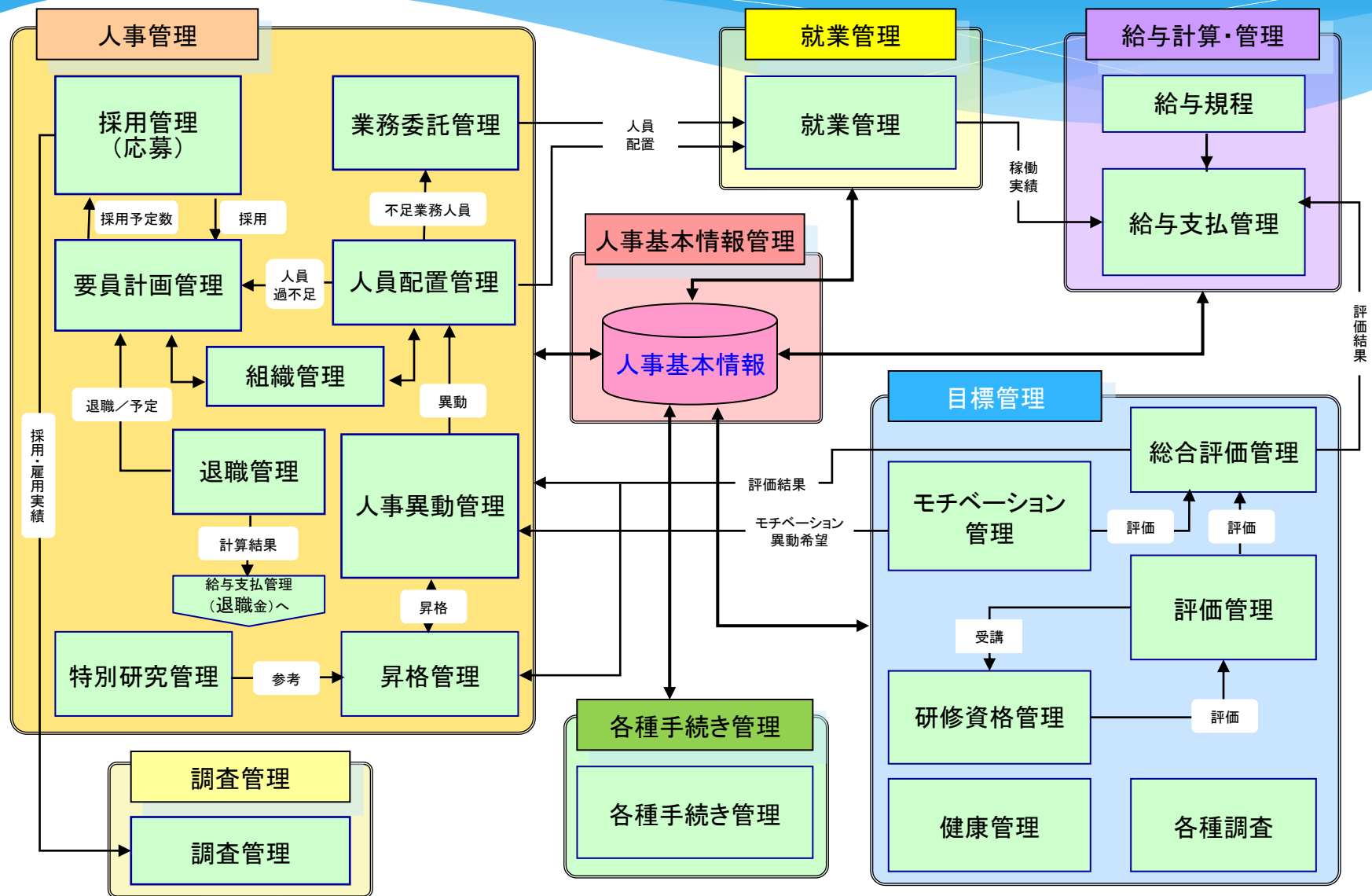
人事の **P-D-C-A** サイクル確立



2. 人事システムの特徴

1. 学校法人で仕事をする全ての人材を対象とすることが可能です。
2. 「**発生源入力**」と「**発生源管理**」の徹底、データの入力、および管理の責任を明確化することが可能です。
3. 人事業務の手続きの簡素化と自動化を徹底し、企画管理業務へのシフトを支援します。
4. モチベーションの向上と生産性の向上のための「**目標管理制度**」を支援します。
 - ・ 「**自己申告制度**」の運用と管理、およびフィードバックを支援します。
 - ・ 「**人事評価制度**」の運用と管理を支援し、適性による人事配置 と 処遇制度の改善に貢献します。
5. 「**権限**」、「**承認・決済**」を設定し、内部統制を徹底します。
6. データ管理を一元化し、**業務改善**と**個人情報保護**を徹底します。
7. 採用機能・人事異動機能・退職機能の連携により職員の**充足状況管理**を支援します。
8. **システム保守**の容易性と、ICTインフラの変化(**技術革新**)に対応します。

3. 人事システムの全体像



4. 人事システムのメニュー構成 - 1

<全体機能>

- 人事基本情報
 - ⇒ 人事基本情報管理
- 人事管理
 - ⇒ 採用管理
 - ⇒ 退職管理
 - ⇒ 異動管理
 - ⇒ 昇格管理
 - ⇒ 給与支払管理
 - ⇒ 特別研究管理
 - ⇒ 就任承諾管理
 - ⇒ 健康管理
 - ⇒ 研修資格管理
 - ⇒ 人事カルテ
- 目標管理
 - ⇒ チャレンジワーク
 - ⇒ 業務プラクティス
 - ⇒ 自己申告
 - ⇒ 総合評価
- 就業管理
 - ⇒ 勤怠管理
 - ⇒ 休暇管理
- 共通機能
 - ⇒ マスタ管理
 - ⇒ 各種手続管理
 - ⇒ 調査管理
 - ⇒ 承認決裁管理
- 他システム連携

詳細

<人事管理>

- 採用管理
 - ⇒ 応募
 - ⇒ 採用準備
 - ⇒ 採用手続き
 - ⇒ 採用選考
 - ⇒ 研究業績
- 退職管理
 - ⇒ 退職手続き
 - ⇒ 退職金計算
- 異動管理
 - ⇒ 異動準備
 - ⇒ 異動シミュレーション
 - ⇒ 異動手続き
 - ⇒ 組織表管理
- 昇格管理
 - ⇒ 昇格手続き
 - ⇒ 人件費予算管理
- 給与支払管理
 - ⇒ 給与支払管理
- 特別研究管理
 - ⇒ 特別研究手続き
- 就任承諾管理
 - ⇒ 就任承諾手続き
- 健康管理
 - ⇒ 健康診断管理
- 研修資格管理
 - ⇒ 申請手続き
 - ⇒ 承認手続き
 - ⇒ 研修結果報告
 - ⇒ 研修資格閲覧
- 人事カルテ
 - ⇒ 人事カルテ出力

<人事基本情報>

- 人事基本情報管理
 - ⇒ 人事基本情報入力

<目標管理>

- チャレンジワーク
 - ⇒ 準備
 - ⇒ 入力・確認
 - ⇒ 集計
 - ⇒ 面接
 - ⇒ マスタ
- 業務プラクティス
 - ⇒ 準備
 - ⇒ 入力・確認
 - ⇒ 集計
 - ⇒ 面接
 - ⇒ マスタ
- 自己申告
 - ⇒ 準備
 - ⇒ 入力・確認
 - ⇒ 集計
 - ⇒ 面接
 - ⇒ マスタ
- 総合評価
 - ⇒ 集計・管理
 - ⇒ マスタ

4. 人事システムのメニュー構成 - 2

<全体機能>

人事基本情報

⇒人事基本情報管理

人事管理

- ⇒採用管理
- ⇒退職管理
- ⇒異動管理
- ⇒昇格管理
- ⇒給与支払管理
- ⇒特別研究管理
- ⇒就任承諾管理
- ⇒健康管理
- ⇒研修資格管理
- ⇒人事カルテ

目標管理

- ⇒チャレンジワーク
- ⇒業務プラクティス
- ⇒自己申告
- ⇒総合評価

就業管理

- ⇒勤怠管理
- ⇒休暇管理

共通機能

- ⇒マスタ管理
- ⇒各種手続管理
- ⇒調査管理
- ⇒承認決裁管理

他システム連携

詳細

<就業管理>

勤怠管理

- ⇒勤怠入力
- ⇒勤怠管理

休暇管理

- ⇒休職手続き
- ⇒復職手続き

<共通機能>

マスタ管理

- ⇒規格マスタ管理
- ⇒学内標準マスタ管理
- ⇒システム固有マスタ管理

各種手続管理

- ⇒申請手続き

調査管理

- ⇒私学事業団調査
- ⇒私大連調査
- ⇒その他調査

承認決裁管理

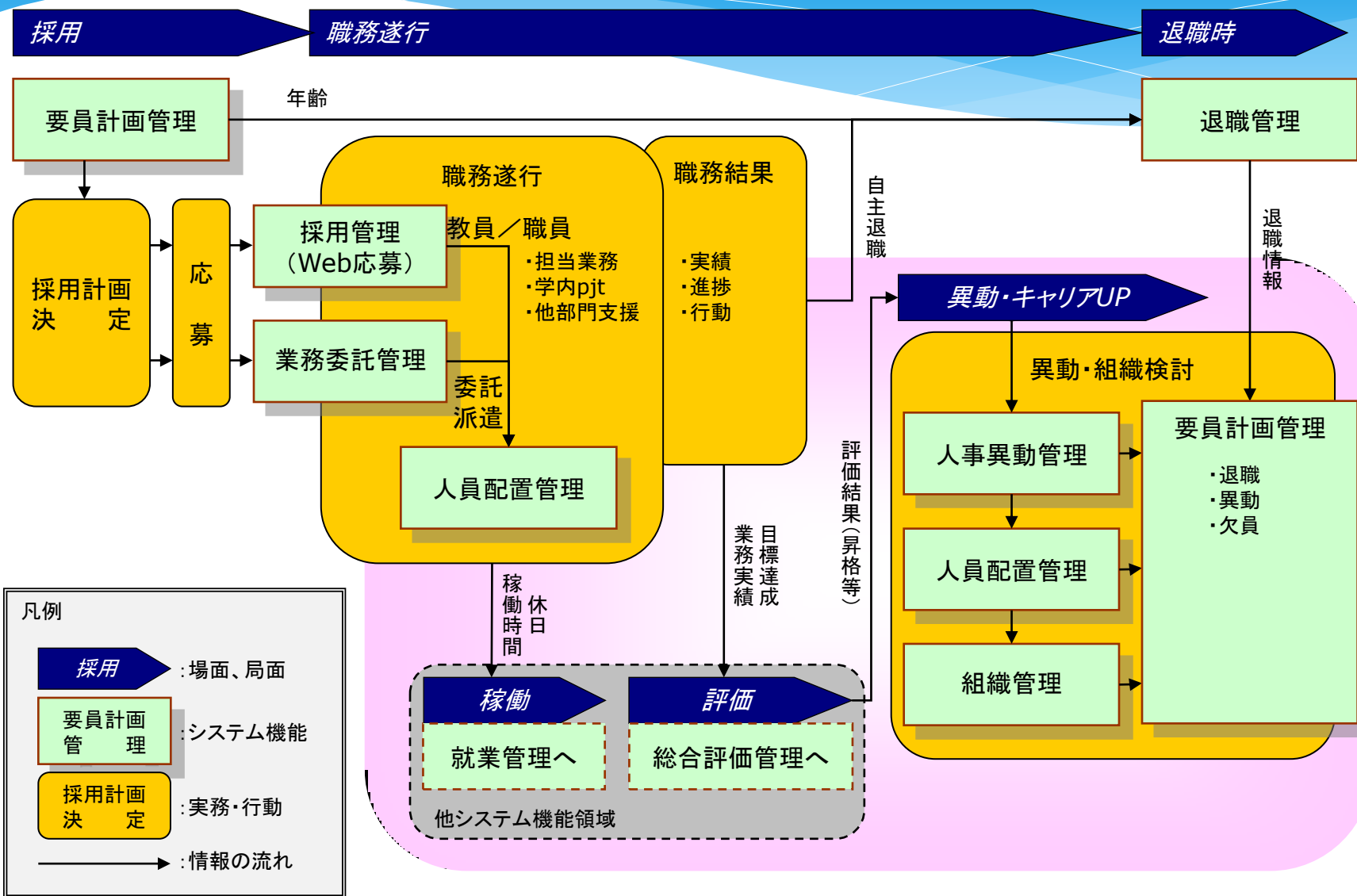
- ⇒承認決裁

<他システム連携>

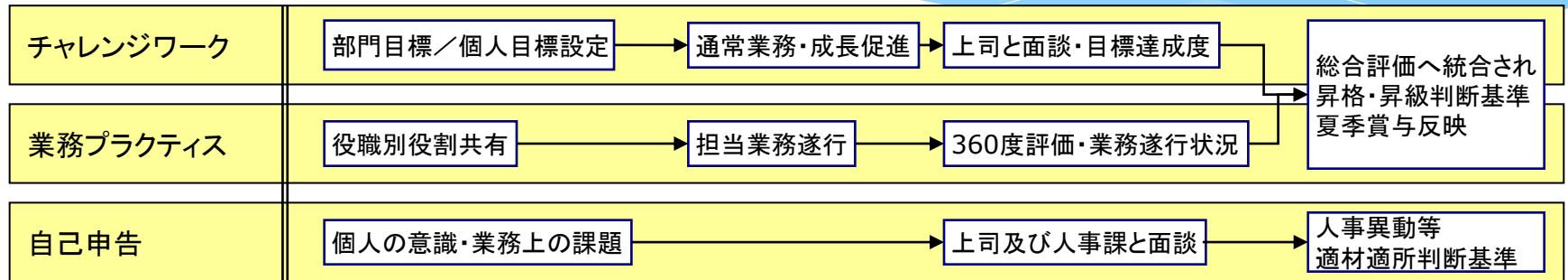
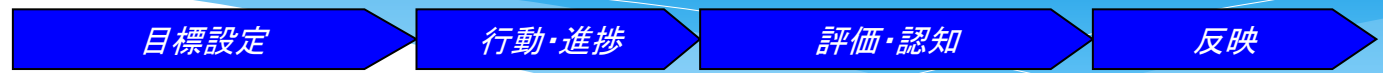
他システム連携

- ⇒ID/PASSコントロールシステム連携
- ⇒会計システム連携
- ⇒学務システム連携
- ⇒研究者DB連携
- ⇒給与計算システム連携
- ⇒派遣情報サイト連携
- ⇒人材募集サイト連携

4-1. 「人事管理」業務の流れ



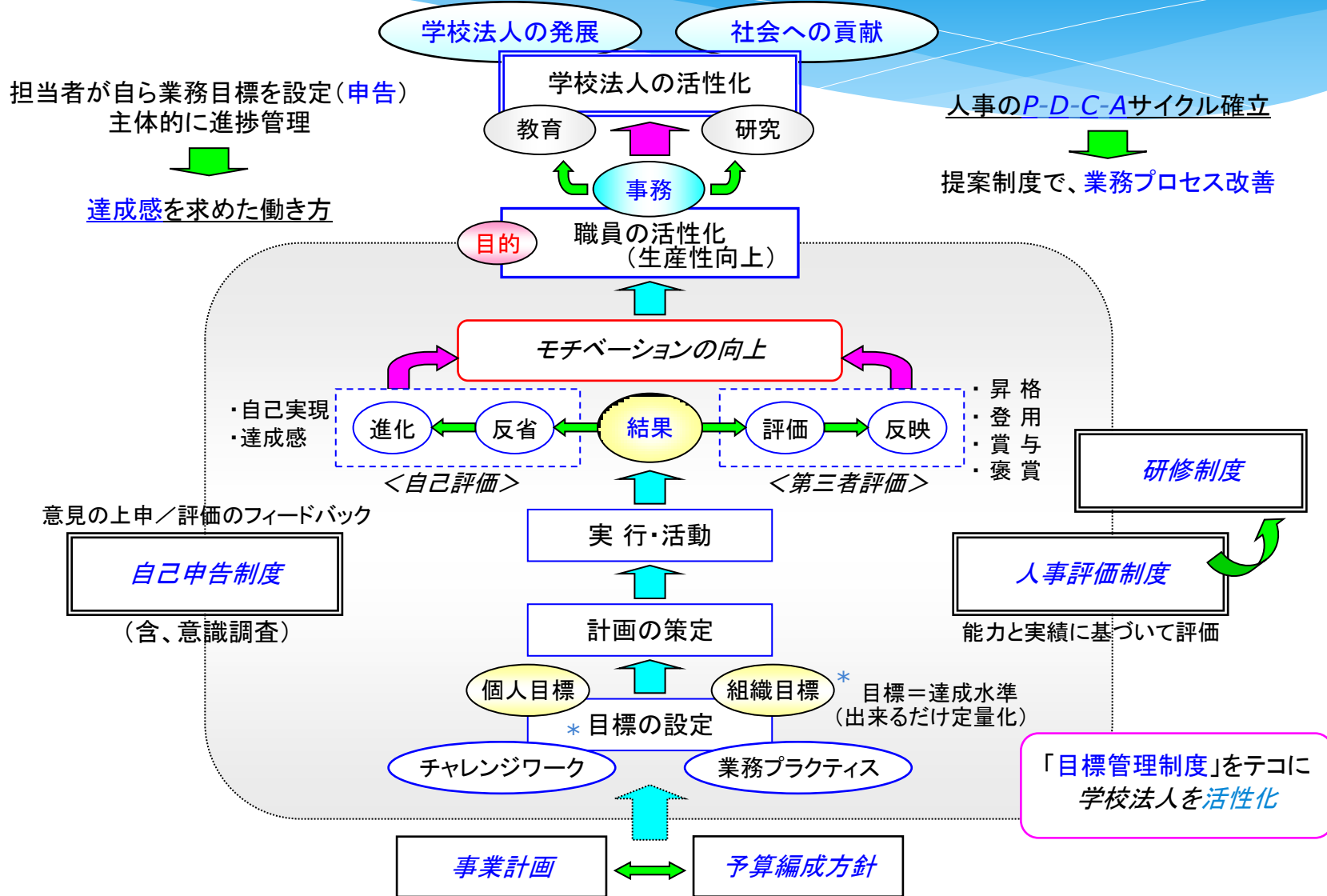
4-2. 「人事評価」(目標管理制度)業務の流れ(例)



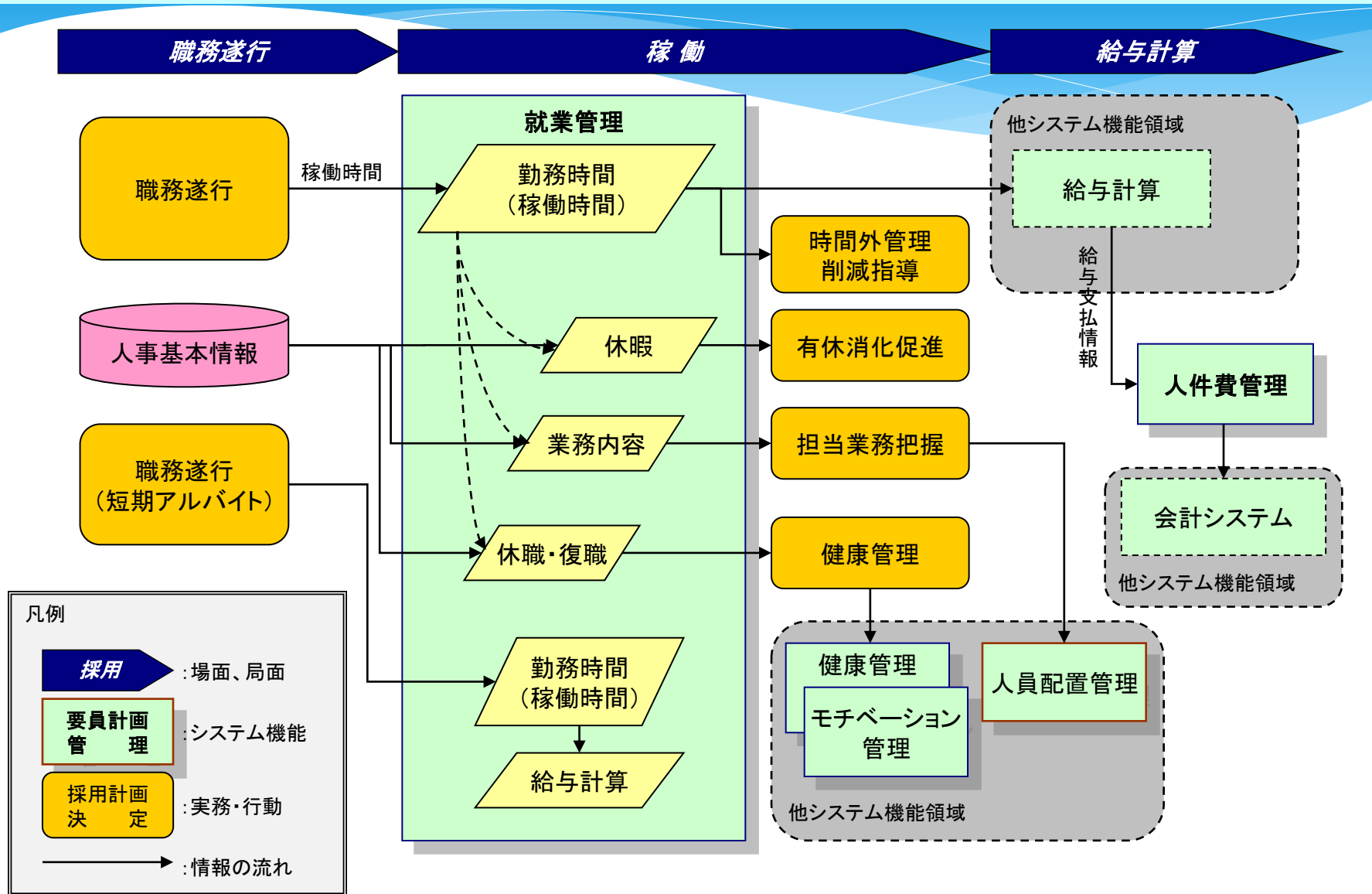
人事制度			前期		上期(4月~9月)					下期(10月~3月)			次期								
制度名	イベント・手続き		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
評価制度	チャレンジワーク	目標設定 部門／個人	設定／面接									見直し 変更									
		進捗管理											中間 進捗面接								
		目標評価														達成度すり合わせ/ 目標評価					* 目標設定と同期
	業務 プラクティス	研修										評価 期間	フィードバック								
		フィード バック																			
総合評価																				総合 評価	
自己申告 制度	自己申告	申告と面接										自己 申告	面接	集計・分析／フィードバック (・法人全体、・個別部門)							
賞与	評価賞与	賞与 計算／支給																		夏季	
処遇	昇格・登用	昇格・登用 資格(候補)																		昇格資格 管理	

翌年に反映

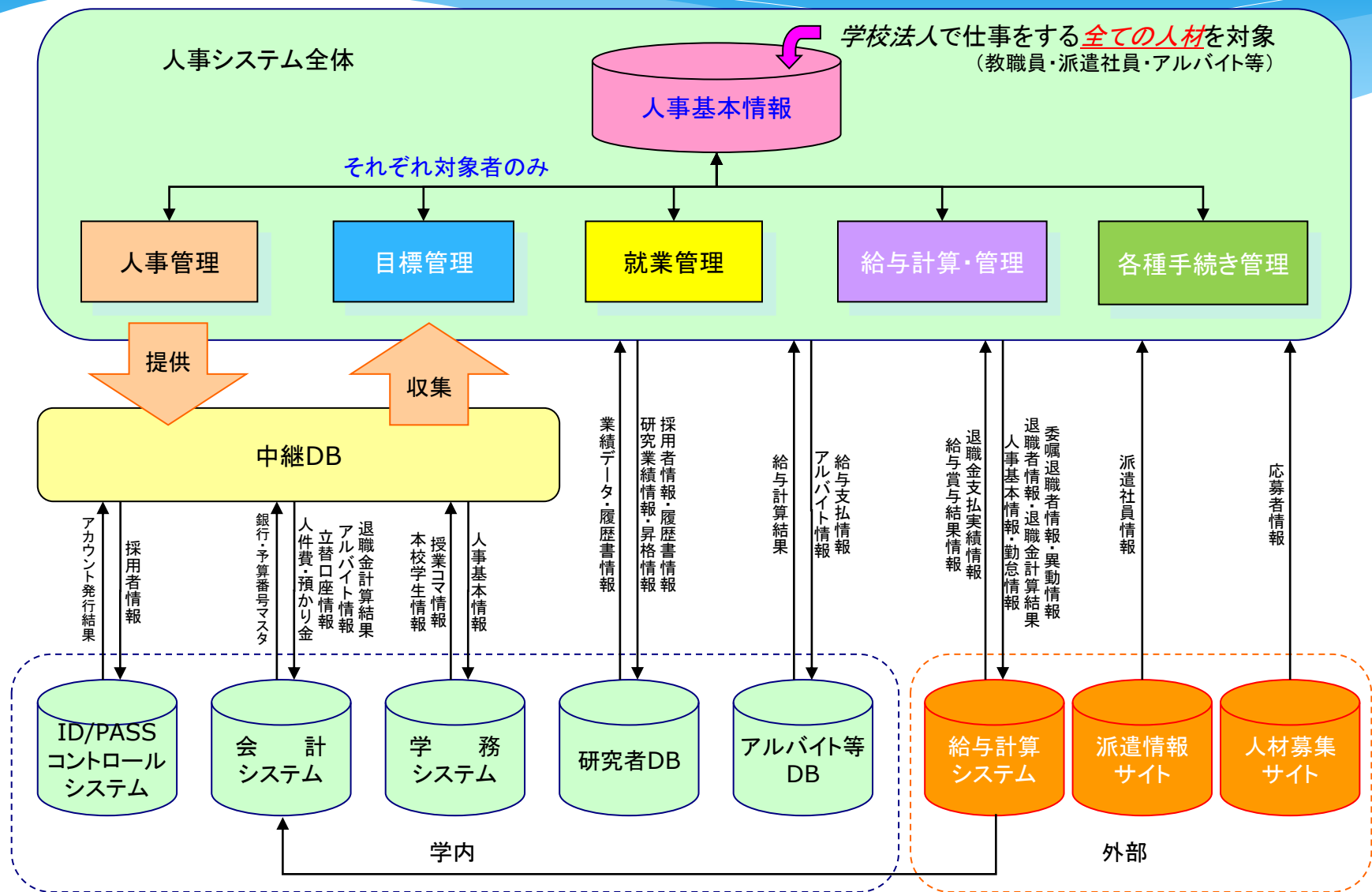
「目標管理制度」導入の狙い(例)



4-3「就業管理」業務の流れ



4-4. 他システムとの連携



5. 人事システムの稼働環境

■ Webシステムを採用

- サーバによりデータを管理
- インターネット網を使用した遠隔地からの運用が可能

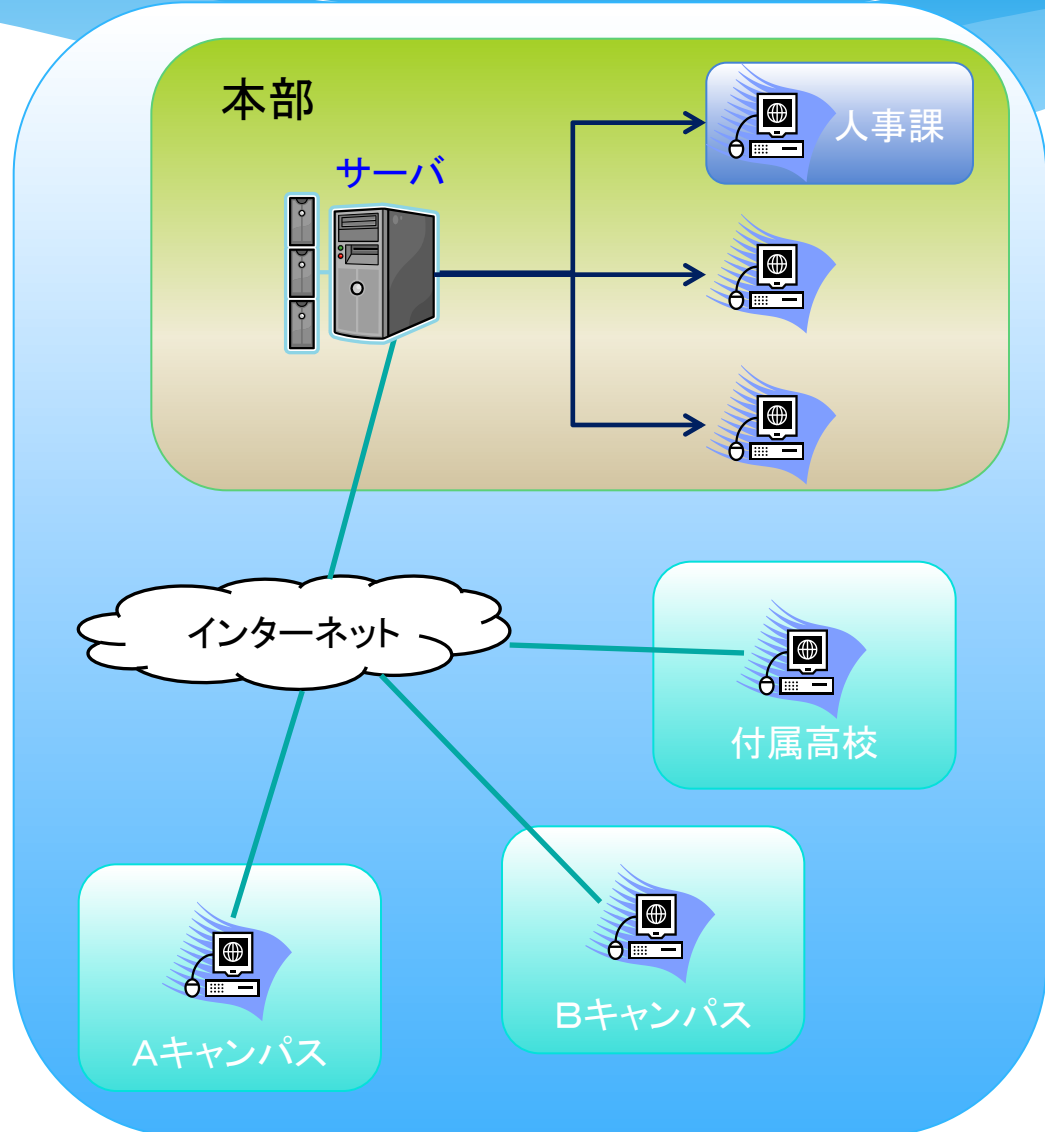
■ ハードウェア構成

○サーバ

- ・データベース用、アプリケーション用が必要
- ・OSはLinux、DBはPostgreSQLを採用
⇒変更も可能。

○クライアント

- ・Windows :XP sp2以降
InternetExplorer7以降
- ・Mac :OS8
FireFox3以降



6. 導入スケジュール(例)

	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目	9ヶ月目
業務要件確認・整理	→								
カスタマイズ・作り込み		→							
レビュー(確認)				▲					
レビュー指摘内容の反映					→				
最終確認						▲			
データ移行		→							
結合検査						→			
総合検査							→		
納品								▲	
試行運用								→	
本稼働									→

人事管理を導入する場合を想定しております。

業務要件に沿ってパッケージをカスタマイズすることを前提としております。

カスタマイズは作り込み、レビュー(確認)、レビュー指摘内容の反映、最終確認を行います。

試行運用の期間は1ヶ月を想定しております。

※目標管理制度を新たに一から構築する場合は、別途工程を提示いたします。

7.導入事例(東洋大学様)

<東洋大学>

株式会社日本格付研究所(JCR)より
 昨年に引き続き「AA」/「安定的」の格付けを取得

大学の信用力、健全な財務体質 及び
 大学の教育・研究・社会貢献への取り組みに対する評価

「AA」は、20段階ある格付けの上から3番目
 債務履行の確実性が非常に高い

《格付事由》

1. 社会のニーズに応えた特色ある学部の展開
2. 一定の帰属収入の確保、収支状況、運用可能資産の厚み等による良好な財政基盤の維持
3. 多くの受験生を惹きつけることによる安定した学生獲得の基盤など

20歳未満の人口予測

2010年2260万人 020年2000万人 2030年1700万人
 (△260万人) (さらに△300万人)

変化には、変化で対応！

(学校法人)人事もパラダイムシフト

「新人事システム」の開発

赤字の私大 なお4割

私大の収支状況

全国約4年制私大の約4割に当たる26校が2009年度決算で赤字だったことが、日本私立学校振興・共済事業団の24日までのまとめ(速報値)で分かった。少子化や景気悪化に伴う寄付金・資産運用収入の減少が響いた。赤字は前年度より3校減ったが、5年前に比べると1.5倍の水増しで、私大の経営環境が依然厳しいことが浮き彫りになった。

調査は私大595校のうち580校が回答。授業料や補助金などの収入総額は3兆2334億円、08年度に比べて60億円減少。寄付金が27億円入が1.8億円減った。教員人件費や研究経費などの支出総額は3兆2%を割り込んだ。

62億円、486億円減った。収支差額の合計は2072億円の黒字だった。世界的な金融危機で有価証券の評価値などが膨らんだ前年度に比べると収支は改善したが、この影響分を除くと悪化している。収入のうち収支差額の占める割合が高いうち、前年度は6.4%、前年度に比べると1.3%上昇したが、06年度以降は10%を割り込んだ。

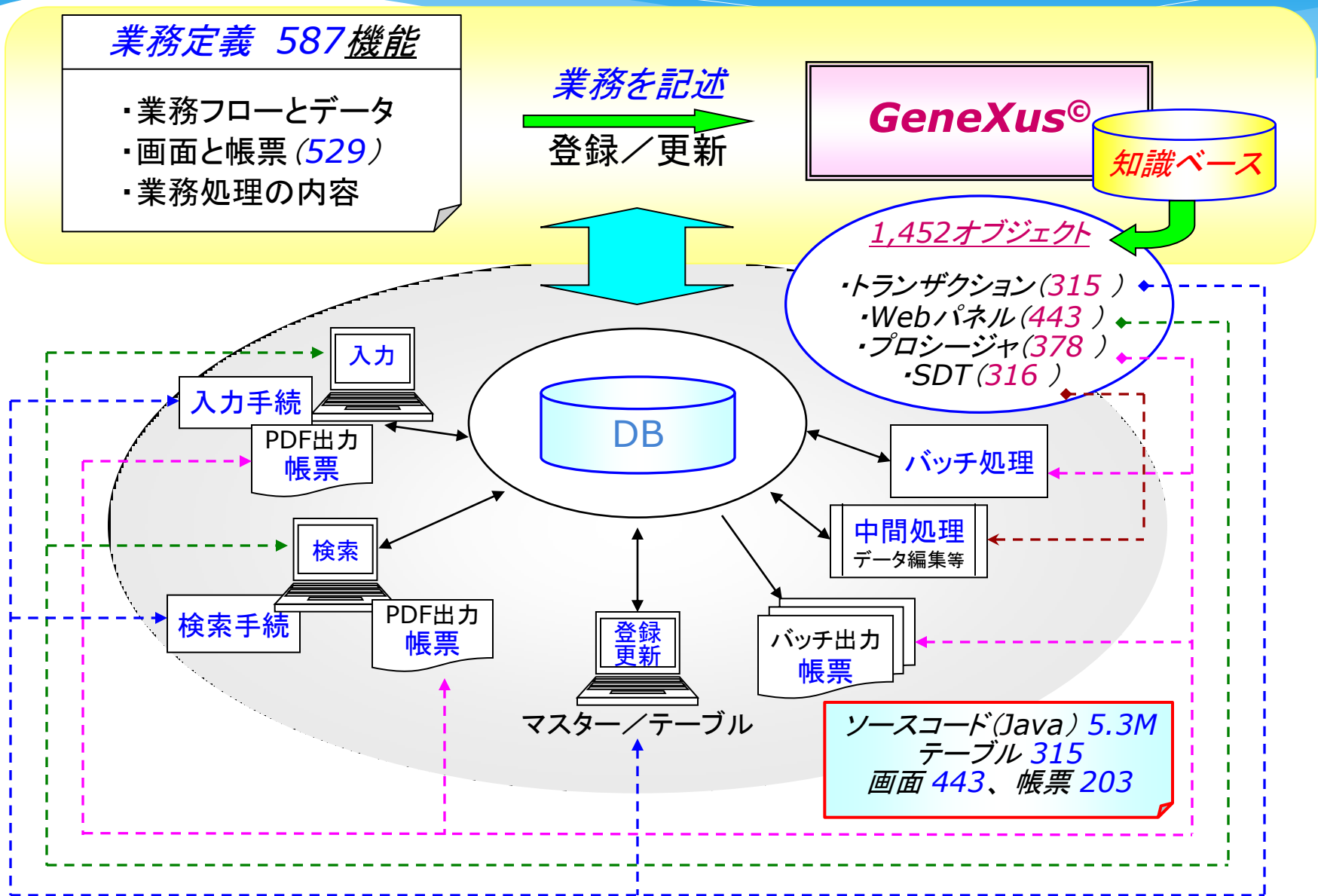
赤字校の割合は39%で前年度に比べて0.7%低下したが、92校(15.9%)で赤字幅が収入の20%を超えた。規模別では学生数が千人未満の大学の65.2%が赤字。1万人以上は7.1%で小規模ほど経営が厳しい。

地区別では京都市と大阪府を除く近畿が最も赤字校の割合が高く、54.3%に上った。愛知県を除く東海・北陸が51.4%、東京都を除く関東・甲信越が47.9%で続いた。東京都は25.9%、大

阪府は30.4%、京都府は16%で比較的安く、地方私大の苦戦が目立った。同事業団は「今年は地方の中小規模大学で志願者数が増えるなど改善の兆しも出ているが、全国的には少子化のため学生納付金の伸びが見込めず、先行きが厳しいこと」に変わりはない」と指摘している。

私学事業団調査

7-1. システムの規模 (GeneXus[®]による開発) (参考)



業務定義 587機能

- ・業務フローとデータ
- ・画面と帳票 (529)
- ・業務処理の内容

業務を記述
登録/更新

GeneXus[®]

知識ベース

1,452オブジェクト

- ・トランザクション (315)
- ・Webパネル (443)
- ・プロシージャ (378)
- ・SDT (316)

DB

入力手続



PDF出力
帳票

検索

検索手続

PDF出力
帳票



登録更新

マスター/テーブル

バッチ処理

中間処理
データ編集等

バッチ出力
帳票

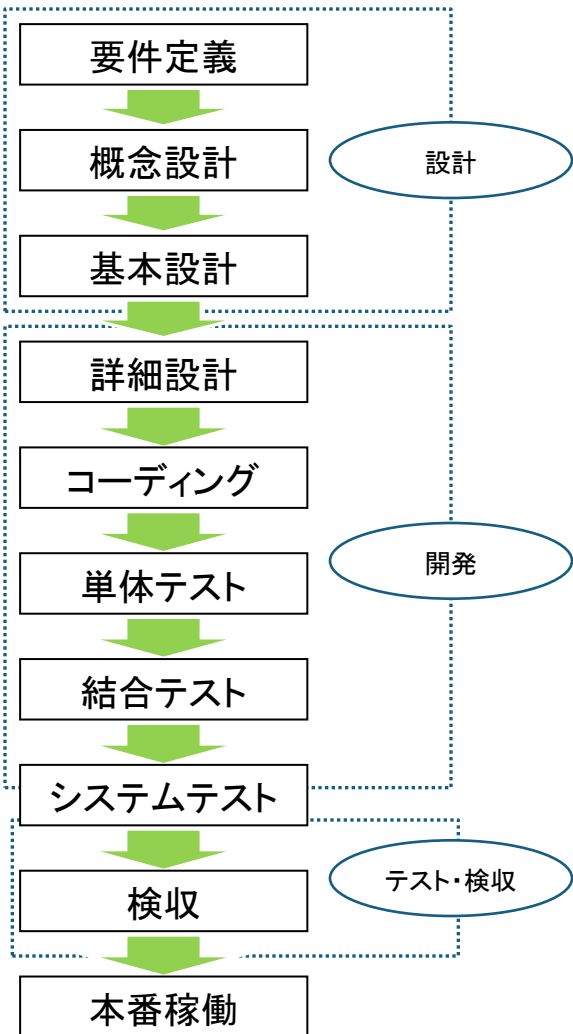
ソースコード (Java) 5.3M
テーブル 315
画面 443、帳票 203

7.2 開発体制 (参考)

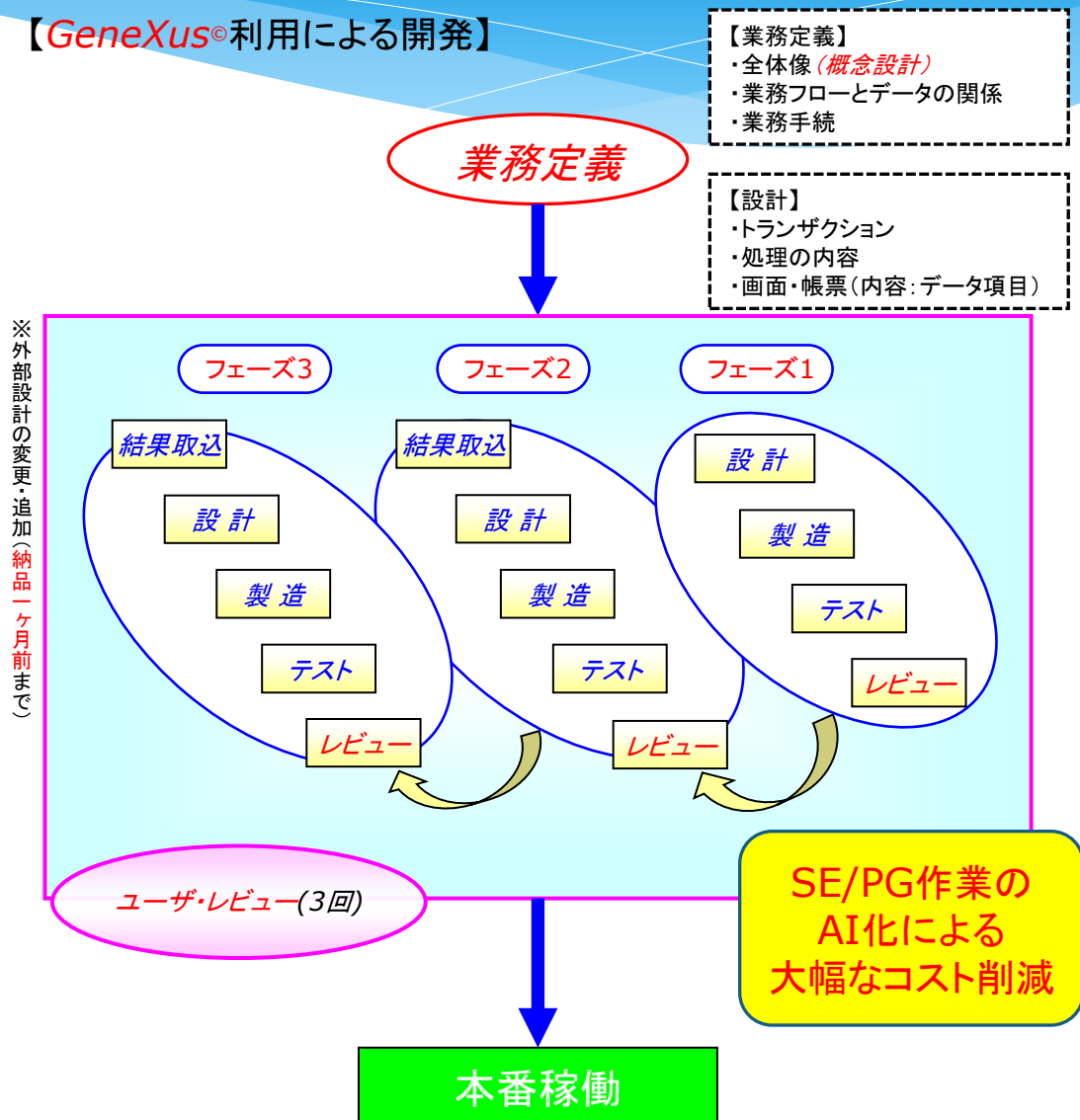


7-3. 開発フェーズおよびユーザ・レビュー (参考)

【従来のウォーターフォール型開発】

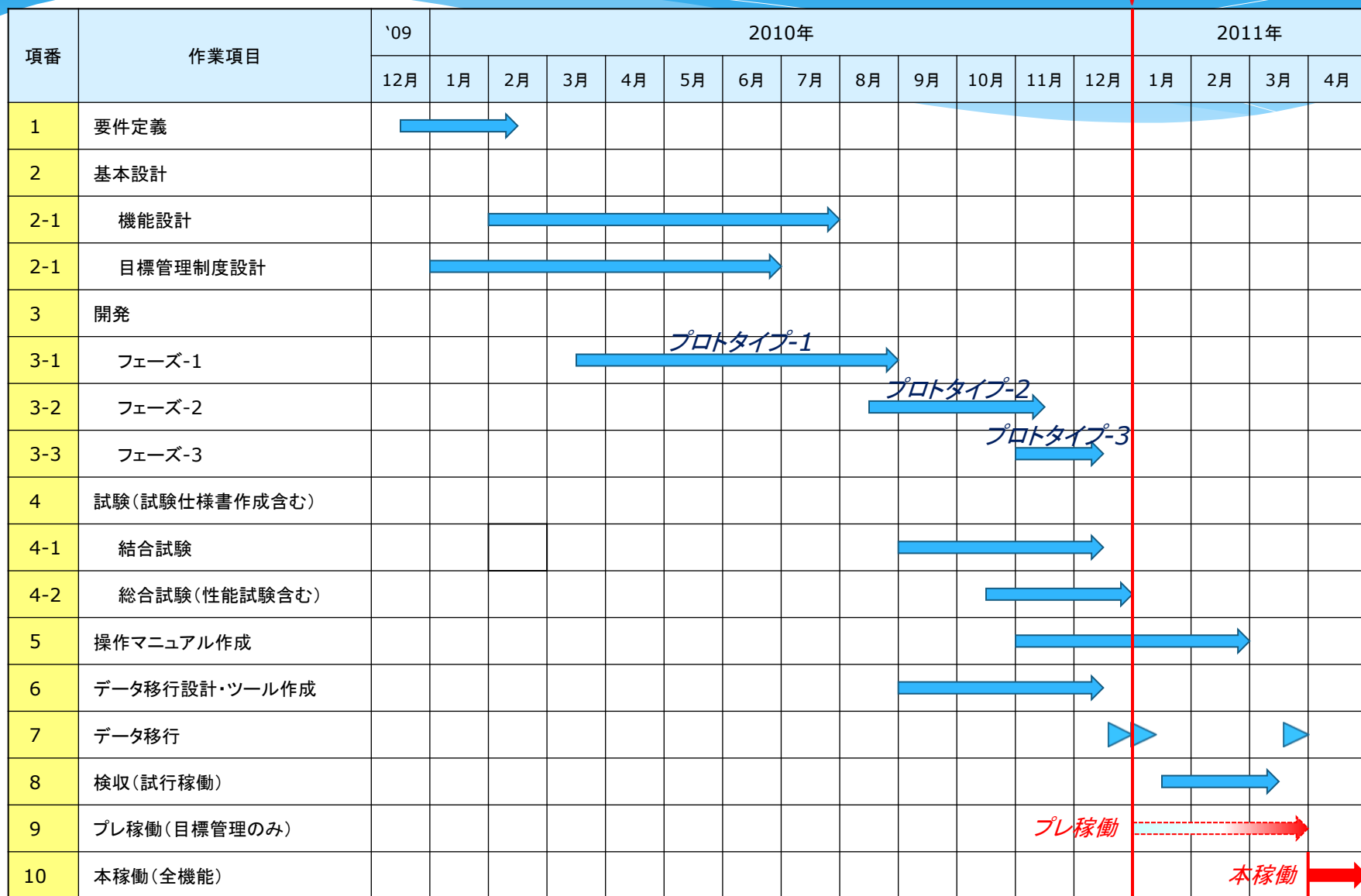


【GeneXus®利用による開発】



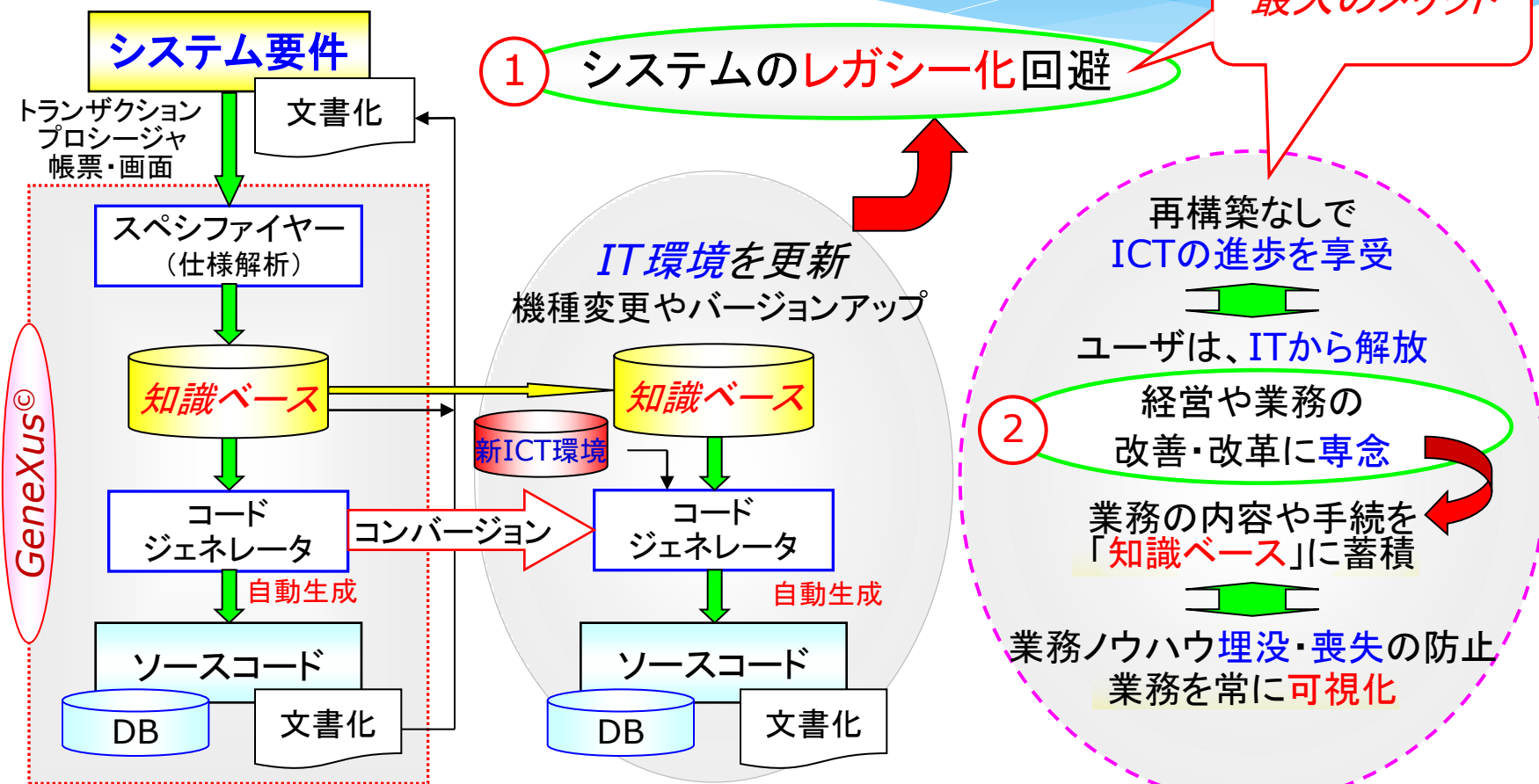
7-4. 開発スケジュール (参考)

システム納品



GeneXus[®]とは

技術の進歩は、GeneXus[®]で随時対応



③ システムの「開発環境」と「稼働環境」が異なってもOK

今後の多様な技術環境に対応

株式会社エスエスイー概要

■設立年月日	昭和61年 8月22日
■払込資本金	9,950万円
■代表者	代表取締役社長 榎本 宗義
■従業員数	168名
■業務内容	情報システムの設計、製造(ソフトハウス)、データ入力、 情報システムメンテナンス、要員派遣
■本社	〒141-0022 東京都品川区東五反田1-11-15 電波ビル7F TEL:03-5449-2381(代) FAX:03-5449-8143
■経産省システムサービス (SI)登録企業	(関)17310129
■労働省派遣事業許可番号	般)13-05-0059
■取引銀行	三菱東京UFJ銀行丸の内支社 東京都民銀行五反田支店 商工中金東京支店
■主要取引先	●国土交通省(東北、北陸、関東、中部、近畿、中国、九州各地方整備局、北海道開発局) ●国土地理院 ●岐阜県庁 ●北海道開発局 ●(財)日本建設情報総合センター ●(財)建設業情報管理センター ●(株)東芝 ●東芝ソリューション(株) ●東芝ITサービス(株) ●日本ユニシス(株)
■事務所	●札幌事務所 ●岩見沢事務所 ●青函事務所 ●青森事務所 ●仙台事務所 ●新潟事務所 ●東京事務所 ●名古屋事務所 ●岐阜事務所 ●大阪事務所 ●広島事務所 ●福岡事務所
■取扱パッケージ	●青色申告会向け業務支援パッケージ「B.S.Notes」
■ホームページ	[URL] http://www.kksse.co.jp

株式会社エスエスイーのこれまでの主な業務実績

国土交通省

標準土木積算システム
 契約管理システム
 用地補償総合システム
 物品管理システム
 水質管理システム設計開発
 道路実施計画システム
 小額工事管理システム
 機械化DBシステム
 来訪者受付集計管理システム

購買契約管理システム
 有資格審査システム
 用地国債システム
 用地調査積算システム
 土木自動設計積算システム
 技術審査表システム
 検査結果管理システム

河川別決算システム
 共有情報運用業務
 新工事管理システム
 測量ポーリング積算システム
 受託管理システム
 道路利用DBシステム
 補助金システム

自治体総合行政

固定資産税
 軽自動車税
 老人福祉医療
 収納管理

住民税
 国民健康保険
 児童手当
 人事給与

法人住民税
 国民年金
 児童扶養手当

北海道開発局

工事契約管理システム

東京都

水道料金納入入力システム

身障者福祉センター業務支援システム 政策情報システム

岐阜県

土木設計積算電算システム
 土木設計積算分散システム

土木測量、地質調査、設計業務電算システム
 土木積算関連諸システム開発

本資料についてのお問い合わせ先

株式会社 エス エス イー

ジェネクサスソリューション部

本社 : 東京都品川区東五反田1-11-15
TEL : 03(5449)2383 FAX : 03(5449)8143
URL : www.kksse.co.jp

窓口: 水野 哲哉(mizunot@kksse.co.jp)